

川崎市の

姉妹・友好都市

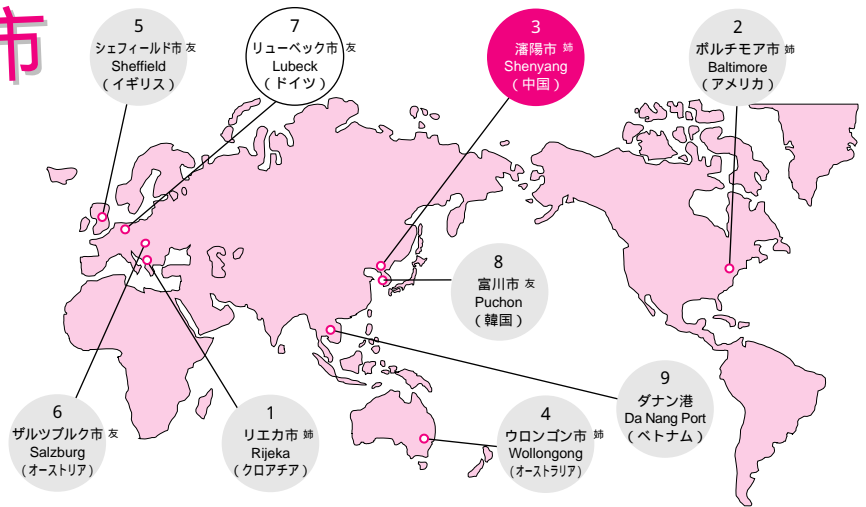
第2回 中国・瀋陽市

瀋陽市は中国東北最大の都市であり、遼寧省の省都です。人口は郊外をふくめて、約720万人です。日中国交正常化以降、日中交流の機会が増え、また市民からの要望もあり、1981年8月に友好都市提携を結んでいます。

現中国の東北開発の中心的拠点とし、重要な重工業地域を形成しています。近年は基盤整備、技術革新、環境問題への対応等将来を先取りする政策が次々に実施されています。川崎市と類似する面も多く、市民間の交流のみならず、行政、産業、経済面においても、頻繁に交流しています。

また、今から約2200年前にすでに都市として発展していた瀋陽市は、中国にふさわしい悠久の歴史を持つ古都です。市民交流団の往来も盛んで、清朝の故宫、東

川崎市では、現在、4つの姉妹都市と4つの友好都市、そして1つの友好港と提携しています。



陵など、多くの名勝、旧跡のすばらしさをよく耳にします。昨年は「瀋陽市提携20周年」を記念して、川崎市国際交流センターにて胡弓コンサートが開催され、多くの市民が楽しみました。

中国は広大な国です。どこへ行こうかと迷った時は瀋陽を訪れてみるのはいかがでしょうか？

(青柳 尚子)

共生の街

国際交流で文化を深く理解できるように

オウ キツ シャク
王 屹 焯 さん(中国)



プロフィール
中国上海市出身。上海大学に在籍。現在、交流学生として専修大学の大学院に在学中。

日本へ来て、もうすぐ1年になります。この1年の間に、外国人の私は、日本語などの勉強を通じて、さまざまな日本文化を体験することができました。

いちばん忘れられないのは、日本舞踊を学んだことです。ホームステイの際、日本人のお姉さんに伴われて若柳先生の教室に行きました。そこで、伝統的な日本舞踊を習い始めました。きれいな着物を着ることから始めそれぞれの動作を習い、体で、ある場面と人物を表現します。けいこをしているうちに、手と頭を多く使うことが大事であると分かりました。そうしたら、柔らかな日本女性を舞台で表現できます。それに、踊りによって昔の物語を、見ている人々に伝えることができました。中国の劇なども、違う形で同じ目標を目指しています。同様に、日本舞踊も音楽や動作で昔の日本人の日常生活まで

をも現わします。幸せなことに私は、日本舞踊を学ぶことを楽しみにするにしたがって、日本文化の勉強になりました。

日本人の生徒たちと、一緒に踊ったり話したりして、お互いに考えを交流して、中日の文化が同じ根に基づくことであると理解しました。うれしいのは、舞踊教室によって両国の境を埋めることができたことです。

収穫の秋が過ぎましたが、私の心は、たくさんの収穫に恵まれました。大洋を越える友情は、私のいちばん身近な宝です。日本舞踊を学んだ体験は、一生忘れることがないと思っています。私たちがしているのは、踊りだけでなく、人生の意味を深く理解して交流しているのだと思います。